

志賀直哉全集

第八卷

志賀直哉全集

第八卷

第十二回配本(全十四卷・付別巻)

昭和四十九年六月五日 發行

定價 二千四百圓

著 者 志 賀 直 哉

發行者 岩 波 雄 二 郎

發行所 東京都千代田區一ツ橋二丁目五番五號
株式會社 岩 波 書 店

落丁本・亂丁本はお取替いたします

© 志賀直吉 1974

隨筆・雜纂

目次

創作餘談	三
續創作餘談	一五
續々創作餘談	三五
稻村雜談	四六
家のこと 祖父 渡良瀬川鑛毒事件 内村鑑三 芝居熱 讀書 漱石と鷗外	
「白樺」の創刊 ロダンのこと 尾ノ道 松江 赤城 我孫子 迷信について	
「智慧と運命」 我孫子にゐた人達 京都、奈良 東京の生活	
「剃刀」の後に	九三
「留女」廣告文	九四
「クロードィアスの日記」に就いて——舟木重雄君に——	九五
「十一月三日午後之事」後日談	九九

本年發表せる創作に就いて(一)——好きな作と不満足な作——	一〇〇
今年は何を書くか	一〇二
「人間」の合評家に——「暗夜行路」の批評に就いて——	一〇三
脣が寒い——福士幸次郎君に——	一〇六
「雨蛙」に就いて	一一二
本年發表せる創作に就いて(二)——「雨蛙」について——	一一九
正 誤	一二〇
「暗夜行路」添へ書	一二三
岩波文庫「和解 或る男、其姉の死」跋	一二五
「現代日本文學全集・志賀直哉集」序	一二六
「明治大正文學全集・志賀直哉集」序	一二七
改造社大判「志賀直哉全集」序	一二八
「手帖から」後記	一二九
三笠書房「志賀直哉讀本」序	一三〇

「暗夜行路」 覚え書	一三一
全集完了	一三五
白樺叢書「志賀直哉集」 あとがき	一三七
「早春」 後記	一三九
座右寶刊行會版「暗夜行路」 あとがき	一四〇
「三つのお話」 はしがき	一四二
「革文函」 あとがき	一四四
「豊年蟲」 あとがき	一四五
「挿話」 あとがき	一四六
細川書店版「或る男、其姉の死」 あとがき	一四七
「友への手紙」 あとがき	一四八
細川書店版「網走まで」 あとがき	一四九
「翌年」 あとがき	一五二
「好人物の夫婦」 あとがき	一五三

「日曜日」まへがき——子供の讀者に——	一五四
「志賀直哉自選短篇集」あとがき	一五五
「蜻蛉」序	一五六
「奈良日誌」あとがき	一五八
中村眞一郎君の疑問に就いて	一五九
書き初めた頃	一六三
現代日本文學選集「和解」はしがき	一七〇
「奈良」あとがき	一七二
「寅年」添へ書	一七三
完結した「暗夜行路」	一七六
「志賀直哉文藝童話集」はしがき	一七七
私はかう思ふ	一七八
「日本兒童文學全集」作者の言葉	一八二
「暗夜行路」の阪口について	一八三

「樹下美人」序	一八四
「枇杷の花」あとがき	一八七
歌舞伎「赤西蠣太」原作者の言葉	一八八
映畫「正義派」原作者の言葉	一八九
戯曲「荒絹」後記	一九〇
歌舞伎「荒絹」原作者の言葉	一九一
「荒絹」に就いて	一九三
映畫「暗夜行路」原作者の言葉	一九五
「赤西蠣太」に就いて	一九六
大竹新助「暗夜行路・寫眞譜」序	一九七
○	
有島壬生馬兄足下	一九九
「現代三十三人集」序	二〇二
「武者小路實篤全集」推薦	二〇三

「武者小路實篤著作集」推薦	二〇四
「漱石全集」推薦	二〇六
漱石全集を薦す	二〇七
「芥川龍之介全集」推薦	二〇九
「ジイド全集」推薦	二一〇
「若山爲三畫會」推薦	二一二
「若山爲三邦畫畫會」推薦	二一三
「榊原紫峰畫集」序	二一四
「黑田辰秋木漆工藝品展」推薦	二一六
「黑田辰秋先生木漆藝作品展」推薦	二一七
「茶道全集」推薦	二一八
人・着物・百選會	二一九
伊丹万作君——「影畫雜記」序——	二二〇
「不二木阿古畫會」推薦	二二二

正子の作文	二二四
「鏡花全集」推薦	二二六
「現代文章講座」推薦	二二八
「能面」推薦	二二九
「ヴァレリイ全集」推薦	二三〇
「上代の彫刻」跋	二三一
「チエーホフ著作集」推薦	二三五
「九里四郎水墨畫會」推薦	二三七
「華岳素描」序	二三九
野尻抱影「星の美と神祕」序	二四一
映畫コンクール	二四三
杉本健吉君の繪	二四六
小泉清君の油繪	二四七
「小泉清遺作未發表展」推薦	二五一

木村明子「留學生」に就いて	二五二
木村明子「パリ留學生」序	二五三
「現代日本小説大系」監修の辭	二五四
マンド・リーフ「すばらしい世界へ」推薦	二五五
新劇と踊り	二五六
藤間節子リサイタル推薦	二五八
黛節子の舞踊	二五九
「西鶴全集」推薦	二六〇
「モオパッサン全集」推薦	二六二
少年美術館	二六四
「少年美術館」推薦のことば	二六六
暮しの手帖社「ぬり繪」推薦	二六七
直井潔「淵」序	二六八
細川護貞「情報天皇に達せず」序	二七〇

「山脇信德遺作展」推薦	二七二
巖谷小波「世界おとぎ話全集」推薦	二七三
緑川廣太郎渡歐後援畫會推薦	二七四
阿川弘之「魔の遺産」推薦	二七五
「広辞苑」推薦	二七六
廣津和郎「松川裁判」推薦	二七七
「岩波少年文庫」推薦	二七八
「辻留」推薦	二七九
辻嘉一「煮たもの」序	二八一
「林二郎洋家具展」推薦	二八三
筑摩書房版「現代日本文学全集」推薦	二八四
大竹新助「写真・文学散歩」序	二八五
「若手落語會」推薦	二八六
島村利正「殘菊抄」序	二八八

入江泰吉「大和路」推薦	二八九
千谷道雄「秀十郎夜話」序	二九〇
トルストイの小説	二九二
柳の民藝運動	二九三
「民芸図鑑」に寄せて	二九四
「青紅会・女子美術大学 染織工芸展」推薦	二九五
「少年少女 日本文学全集」監修のことば	二九六
好きな作家	二九七
〔多聞堂ビル落成に際して〕	二九八
〔武者小路有紀子後援會發足にあたって〕	二九九
土門君の藝術	三〇一
小島政二郎君の全集を推す	三〇二
「定本小林多喜二全集」推薦	三〇四
古美術と私	三〇六

「白樺」發刊に際して	三二	らくがき三つ	三六
第七義の望	三三	ミス・ニッポン審査員の言葉(一)	三七
白樺編集室にて(一七十七)	三三	ミス・ニッポン審査員の言葉(二)	三八
京都通信	三三	考へ物	三八
私　　信	三六	美人の條件	三八
小犬と小猫	三六	○天理教機關雜誌への返事	三九
私の祖父	三六	メートル法廢止運動に就いての返事	四〇
最近讀んだもの	三六	からだ	四一
近頃の日常生活	三六	「嵐ヶ丘」に就いて	四一
畜犬に就いて	三七	鰐狩紳士	四一
雑誌「人間」への回答	三九	わが欲する書	四七
葉と共に觀る櫻	三七〇	再演に堪へるもの	三八
回答四つ	三七	讀實新聞の中篇小説募集に寄す	三九
女の美しさ	三七	秋風短信	四〇
好きな俳優	三七	「第七のヴェール」と「旅路の果て」	四一
探してゐるもの	三七	「失はれた週末」	四二
鮎新聞への返事	三五	今年の計畫	四四

監修者のことば (一)	三九五	教師の記録「白い魔魚」「沈黙の世界」	四六
監修者のことば (二)	三九五	「東京暮色」「キクとイサム」	四六
柳多留秀句	三九六		
楽しい旅行を	四〇一	〔談話〕	
卒業する諸君へ	四〇三	装幀に關するノート	四一九
學校圖書原町工場開所記念の爲に	四〇三	『范の犯罪』に就いて	四二一
尾ノ道・松江	四〇三	美術雜誌	四二三
桑葉蠶兒圖	四〇五	〔國際ペンクラブ大會招待に際し〕	四三二
斷片	四〇六	娘義太夫のこと	四三三
〔作家の二十四時〕	四〇七	「長屋紳士録」をみる	四三四
東京散歩	四〇八	「大洞臺にて」	四三六
十五圓の佛像	四一一	木下利玄の思出	四四〇
尾道	四一二	隨筆祖父	四四三
ヘイシングと木村との勝負	四一五	柔道世界選手權大會を見て	四五〇
〔アサヒゴールド・アンケート〕回答)	四一五	柔道の思ひ出	四五二
〔ことばの教育〕アンケート回答)	四一六	村上華岳名作展を見て	四五四
〔映畫推薦〕「麥秋」「東京物語」「泉へのみち」	四一六	〔ハロー京都〕欄)	四五五
「渡り鳥いつ歸る」「新平家物語」「女		富崎春昇の思ひ出	四五五